誰一人取り残さない　安全安心なやさしいまちを目指して

Ｒｅ　Ｓｔａｒｔ

福祉課（内線222）

Vol.25　再犯と就労

「令和４年矯正統計年報」によると、刑務所に再入所した人のうち、再犯時に無職だった人の割合は約７割。また、無職者の再犯率は、有職者の再犯率と比較して約５倍です。

これらの数字からも分かるように、刑務所などから出所した人の再犯を防ぐには、就労の確保が欠かせません。しかし、今もなお、一度犯罪をした人が就労を確保することは厳しい状況にあります。

そのような中で、犯罪をした人の自立や社会復帰に協力することを目的に、犯罪をした人を雇用しようとする「協力雇用主」という人たちがいます。現在、全国で約２万５千の民間事業者が、協力雇用主として活動しています。協力雇用主の存在によって、再犯者は新しい生活をスタートするための支えを得ることができます。また、働くことで自信を取り戻し、社会への貢献を実感することが再犯の抑制につながります。

この機会に、皆さんも“雇用”の面から再犯防止を考えてみませんか。

人権感覚を高め　お互いを認め合う　人権尊重のまちづくり

人権のまど

市民活動課（内線357）

子どもの権利を守るために

1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」には、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利など、子どもの基本的人権を保障するための大切な権利が書かれています。

しかし、最近はSNSの普及や進級・進学などの環境の変化で、いじめや体罰、不登校、児童虐待など、子どもの権利が守られていない問題が増えています。「令和５年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果」によると、いじめや暴力行為の件数は過去最多でした。約75%のいじめが解消したとも報告されていますが、SNS上のいじめのように解消を確認しにくいケースも増えていると考えられます。

現代を生きる子どもたちが安心して成長できる環境を整えるために、私たち大人に何ができるでしょうか。しつけや指導は大事ですが、子どもにはそれぞれの個性や人格があることを忘れてはいけません。未来を担う子どもたちの権利を、みんなで守っていきましょう。

土岐商写真部×広報とき

土岐の写真を撮り隊

Vol.24「ぼたんいろ」

つつじが咲く季節になりました。学校にはつつじの花が所々に咲いています。緑の中につつじの色が差し色になって学校を色鮮やかにしてくれています。

みなさんも、ぜひ、つつじを探してみてください。

撮影班　三年　氏原朱柚乃（あゆの）・楓恵歩（けいと）